



《健全な経営、正しい納税、社会に貢献》

八幡法人会だより

sarakura



特集1 東筑軒 2

特集2 折尾駅 6

学校紹介 星琳高等学校 8

エッセイ 10

会長・署長挨拶 12

令和四・五年度活動報告 13

今後の予定 16

新会員紹介・税務署人事異動 17

八幡税務署からのお知らせ 18

東筑軒の歴史

株式会社 東筑軒は、JR折尾駅を中心に、駅弁の「かしわめし」を主力として製造・販売している会社です。

創業時

創業は大正10年（1921年）ですので、今年で103年目を迎えます。

創業当時から東筑軒という社名ではなく、当時の折尾には、「かしわめし」を考案した本庄巖水創業の筑紫軒、現社長の祖父・



眞養亭創業の佐竹眞雄氏

佐竹眞雄が創業の眞養亭の他、吉田弁当店など4、5軒の駅弁当屋があったそうです。

当社のメイン商品である「かしわめし」の誕生は、本庄巖水が考案いたしました。創業当時の立ち売りの弁当には、上等と普通の2種類の弁当しかありませんでした。旅客の間にも内容が変わった特殊弁当の販売を強く要望する声があったそうです。

そこで本庄巖水は、地域の特色を活かした駅弁が出来ないかと考え、来客や祝い事の時には、鶏を料理して振舞った福岡の土地柄を鑑み、鶏ガラのスープでご飯を炊きこみ、玉子と鶏肉をトッピングした「親子めし」を考案しました。ところがこの「親子めし」は、売る時の掛け声が、「オヤコロシ（親殺し）」と聞こえるために、「かしわめでは縁起が悪いということで、「かしわめ



創業当時の様子

し」に改名をしたということです。但しこの頃の「かしわめし」は、いわゆる炊き込みご飯だったそうですが、傷みやすいため、どうすれば日持ちするかを日夜研究し、今の3色トッピングのスタイルに行き着いたそうです。それがいつ頃の事なのかは、資料が無いため定かではありません。因みに「かしわめし」のご飯の味の決め手になる調味料は、本庄巖水の妻・スヨが考えたそうです。その配分は、本庄家の女性にしかな受け継がれていません。

統合時

「かしわめし」は発売後、旅客の評判も予想以上で、順調に業績も伸ばしていましたが、太平洋戦争に突入後は、国策による食糧管理法の公布施行に依り、食糧は配給制となりました。

それと同時期の昭和17年に九州全域における従来の個人企業である構内営業は九つの有限会社に改組されました。これにより折尾にあった筑紫軒、眞養亭、吉田弁当店と直方にあった東洋軒を整理統合し「東筑鉄道構内営業有限会社」を設立し、折尾駅と直方駅で売店営業を開始しました。

因みに初代社長に眞養亭の佐竹眞雄が就任したと聞いています。初代が昭和21年2月に他界した後、本庄巖水の二男・洋が就任いたしました。

その他八つの九州の有限会社は、北九州（門司、小倉、行橋を統合）、博多、九州中央（鳥栖、久留米、大牟田、日田）、西九州（佐賀、肥前山口、早岐、諫早）、大分（中津、別府、大分、佐伯、豊後竹田）、熊本（熊本、八代、人吉、立野）、鹿児島（出水、川内、鹿児島、吉松）、宮崎（宮崎、延岡、都城）となっています。

戦後、それぞれの有限会社は解散・改編等を経て、現在の駅弁会社へと発展していきます。

当社は、昭和30年に東筑鉄道構内営業有限会社を解散し、新たに株式会社東筑軒に改組し、初代社長に本庄洋、その後、佐竹晃、そして3代目の現社長へと続き現在に至ります。

因みに昭和30年代当時の「かしわめし」は、80円でした。

駅中心から市中へ

昭和30年代から40年代は、まだまだ炭鉱があり、折尾駅は鹿児島本線と筑豊本線との乗換え口であった為、それなりに繁盛していました。昭和40年には黒崎駅、43年には八幡駅、昭和55年から57年にかけては、東郷駅、福岡駅、赤間駅にて売店営業を開始していきました。立ち食いうどんは、昭和49年9月16日より、折尾駅下り3番ホームにて開始をいたしました。現在では、各駅売店他8店舗で展開しています。

（※東郷売店は平成22年2月にて閉店しました。）

然しながら、昭和40年代半ばになると、エネルギー革命や列車のスピード化等々、時代の流れには逆らう事が出来ず、駅構内だけの販売では、先細りとなってしまいました。

昭和30年代九州管内にて、九州鉄道営業会という業界団体に所属していた駅弁会社は、30軒ほどありましたが、倒産や廃業等々



梱包の様子



肉炊きの様子

で現在ではその当時から、会員会社は6軒のみになってしまいました。

当社ではそのような時代背景に危機感を感じ、昭和50年代に入った頃には、市中への営業、いわゆる仕出し業へと舵を切っていました。

この頃からおかず付き「かしわめし」のバリエーションを増やし、オードブル等々も手掛けるようになりました。

昭和54年10月には当社としては初めて百貨店と契約し、黒崎そごうの食品売り場に outlet しました。

outlet 当初はかなり好調で、折尾の本社工場だけでは賄いきれなかったため、若松の二島工業団地に昭和56年に新工場を開設いたしました。しかしそごう景気は、あっという間に尻すぼみになってしまい、二島工場は、暇を持て余していたようです。当時の方に話を聞くと、お弁当はすぐに作り終えたので、空いた時間は、ずっと掃除、それでも時間があつたので、皆で盆踊りや日本舞踊の稽古をしてたそうです。

経営的にもかなり厳しい状況にありまして、二島工場を閉鎖するかどうかの検討もしていたのですが、幸運にも折尾本社が道路拡張計画にかり、製造部門・配送部門を全て二島工場に集約をしました。そして昭和62年1月に現在の本社ビルが完成しそれと同時に二島工場を集約閉鎖いたしま

した。

この年あたりからおせち料理などにも力を入れ、バブル景気も手伝ってか業績も回復基調に向かい、デパートへの販路も広げ、平成2年に博多天神大丸B2Fに outlet、翌年には西新岩田屋にも outlet しました。景気後退期に入っても平成5年に小倉そごうへ outlet、平成13年には黒崎井筒屋へも outlet いたしました。

バブル崩壊後は、小倉そごうの撤退や伊勢丹の参入・撤退など紆余曲折があり、現在は天神大丸店と小倉井筒屋店に落ち着いています。

その間、平成4年から福岡ドーム（現ペイペイドーム）でも「かしわめし」弁当を販売。また、平成15年には、イオン香椎浜にフードコートスタイルでうどん店を出店。平成18年11月にはイオン八幡東ショッピングモールにうどん店『東八』を outlet しました。この時に温かい「かしわめし」を提供出来ないかと試行錯誤しましたが、温かいと甘みが強すぎる（a デンプンが唾液の中の酵素と結びつき糖に変わりやすい）為に断念をしました。今は両店共にうどん店はありませんが、その時の繋がりにより、イオン各店舗にて駅弁の「かしわめし」を委託販売しております。

今後の展開

平成31年頃までは、年商11億前後をキープしていましたが、当社に於きましても昨今の人手不足の問題に直面しております。

特に製造部門では、深夜勤務従事者の高齢化が進み、定年退職者が続発しています。その後任を募集してもなかなか応募がありません。その日のうちに、仕込みから調理、盛り付けして配送をしないとけないので、繁忙期になると、どうかすると前の日の夜から作業をしないとけない状況になり、それが数日続くこともありまして。外国人という選択肢もあるのですが、衛生





100周年記念パッケージ（昭和初期の復刻版）

観念という意味でなかなか踏み切ることが出来ません。

そこで、そのような状況を打破する策として、最新の瞬間冷凍技術を活用する工場を平成31年2月に遠賀町に開設し稼働しております。これにより、今まで深夜に行っていた惣菜の仕込み、調理並びに盛り付け作業を日中・昼間の作業に移行し、さらに計画生産ができるシステムを構築いたしました。

いわゆる冷凍食材になるのですが、最近の冷凍は解凍した後でもそれほど違和感が感じられません。

今まで以上に作業効率の向上と、より安心・安全な惣菜を備蓄出来るようになりました。

但し、「かしの飯」だけは味や食感が損なわれるといけないので、冷凍化には躊躇しており、炊飯部門だけは現状の深夜作業を続けておりました。ところが、令和2年2月以降に新型コロナウイルスの蔓延により、当社も大打撃を受けてしまいました。様々なイベントや行事ごとが中止となり、売り上げが前年比、3割から4割にまで落ち込んでしまいました。当社としても、現状を打開する為に「かしの飯」の冷凍化に取り組み、試行錯誤を繰り返した後、温かいまま盛り付けることでようやく納得のいく冷凍化にたどり着くことができました。令和3年11月より冷凍「かしの飯」の販売を開始し、オンラインショップによって遠方のお客様にも「かしの飯」をお届けすることが可能になりました。現在では本社横に冷凍自動販売機を設置し、駅のうどんと共に冷凍「かしの飯」を販売いたしております。

今年に入ってからコロナも落ち着きつつあり、5月からは5類相当に移行された為、経済活動もより活発化してきました。業績も少しずつ回復基調にあります。令和5年6月現在で、コロナ禍前の9割から9割3分の売り上げにとどまっており、まだまだ厳

しい状況は続いています。またウクライナ情勢等によるエネルギー価格やその他原材料の価格高騰は続いており、さらには鶏インフルエンザの世界的流行のより、卵や鶏肉の不足や価格上昇も起こっています。今しばらく我慢の時期が続きます。

また、鶏自体も昔とは飼育環境や餌の違いにより肉質やガラの質も変わってきています。創業当時の味を継続することは難しい時代になってきました。当社としては、出来る限り昔ながらの味をキープ出来るように日々研究・努力に努めていきたいと考えます。

今後は、「かしの飯」の伝統の味を守り、日本独自の駅弁という食文化を伝え続けることを使命とするともに、時代のニーズに合った新しい形の弁当を開発し、全国に発信していきたいと思っております。



株式会社 東筑軒

〒 807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町 4-1
お問い合わせ 093-601-2345

JR折尾駅

折尾駅は1891年（明治24年）に開業し、かつては鹿児島本線と筑豊本線が十字に交差する立体交差駅で、筑豊炭田と若松港を結ぶ石炭の要所として賑わっていました。現在の駅舎は折尾地区総合整備事業に伴い2021年1月にリニューアルオープンしたものです。地域の皆さまのご要望を基に1916年（大正5年）当時のデザインを踏襲し、新しく機能的に生まれ変わりました。懐かしさを遺した新駅舎は、東筑軒の駅弁の立売りの風情にも似つかわしく、地元の方や訪れるお客さまに喜ばれています。



駅前広場

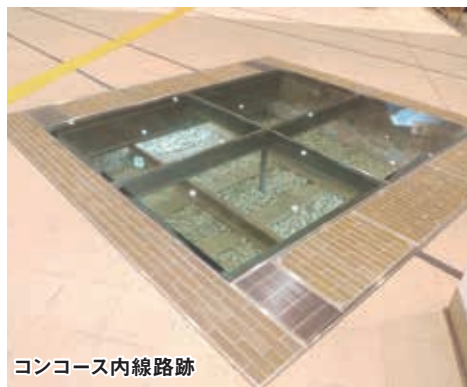
2023年6月4日（日）、折尾駅北側駅前広場の完成式典が執り行われました。かつての賑わいは折尾が学園都市となった今日、若い学生たちに継承され、駅前の広場には毎朝夕、元気で明るい話し声が響い



旧駅舎外観



線路跡・記念碑



コンコース内線路跡



改札周辺・ベンチ



レール照明塔



新駅舎外観

ています。

この新しい広場、そして新しい駅舎には随所にかつての折尾駅の歴史が遺されており、今でも往時を偲ぶことができます。

駅のコンコースではガラス張りの床下に見えます。旧折尾駅で実際に使用されていた線路、枕木、そして壁面の赤煉瓦まで、当時の佇まいをそのまま遺していますので、駅をご利用の際にはぜひ足を止めていただきたいスポットです。駅前広場と駅改札をつなぐ駅舎の中は旧駅舎の待合室をイメージしており、円形ベンチ、化粧柱や格子天井が当時を思い出させてくれます。

駅前広場にも旧・筑豊本線跡の線路のモニュメントと「日本初立体交差駅の地」の記念碑があり、広場の高架下の照明塔にはかつて駅ののりばで使われていた古レールの支柱が活用されています。

130年を超える歴史の香りを今に伝えつつ、生まれ変わる折尾駅とその周辺。この秋には駅高架下に商業施設「えきマチ1丁目折尾」がオープンし、さらに駅前の賑わいが増すことが期待されます。駅からまちへ、活気と賑わいが広がる折尾の玄関口として、皆さまに愛される駅を目指したいと思っています。

「星琳」のごとく光輝く人材の育成を目指す

星琳高等学校



「社会適応力」「地域貢献実践力」
「星琳の志」の育成

「星琳」という校名には、「光り輝く星」になって欲しいとの思いと、目立たなくても「一隅を照らす星」となって欲しいという両方の願いが込められています。人間は自ら輝く時もある、人を支えたり、応援したりする場面や時があります。そのどちらとしても社会に輝ける人となるような人材育成を図っております。

そのために、三つの資質・能力向上を目指しています。まず、この激動の時代を生き抜くための知・徳・体を備えた「社会適応力」。現実の社会での実践活動を通じて社会を変革していくための「地域貢献実践力」。そして、校名の星琳のごとく光輝くために尽きることのないエネルギーを持った「星琳の志」を有する人材の育成を目指しております。

「挑戦」し、「進化」する学校へ変身！

部活動では、第105回全国高等学校野球選手権福岡大会で優勝候補の福岡大学附属大濠高校に勝利し、ベスト16に輝いた硬式野球部をはじめ、サッカー部、男子バスケットボール部とともに北九州地区優勝、県ベスト16へ進出。剣道部の女子個人では、北部・筑豊ブロック予選で優勝するなど非常に力をつけ



創設者能美ヨシ子先生像

創設者の能美ヨシ子先生は「これからは女性といえども勇敢に社会へ進出し、自立の道を自らの手で開拓し、強く正しく生きて行かねばならない」と黒崎地区の筒井に「八幡筑紫洋裁女学院」を設立。その後、女子の高等学校教育の必要性を考え、昭和39年（1964年）「成美高等学校」を青山の地に設立。昭和55年（1980年）に「青山女子高等学校」へ改名。平成13年（2001年）に「星琳高等学校」と改称し、翌年に男女共学校へ改編。普通科と食物調理科を有する現在の形となり、来年度は60周年を迎えます。



食物調理科の実習風景



野球部



包丁授与式





マルチメディアセンター



本校の総合グラウンド



星琳祭 (文化祭)



本校体育祭 (北九州総合体育館)

その成果もあり、進学では福岡教育大学や北九州市立大学等の国公立大学や福岡大学の私立大学等にも現役合格者を出しています。就職も11年連続で就職希望者の就職率100%の実績が出ています。

さらに、吹奏楽部や食物調理科が「黒崎96の日」をはじめとした地域のイベントや市民センターの文化祭等への出演や出店が高く評価され、八幡西区長から感謝状の贈呈を受けました。現在は長い歴史を誇る入江製菓と「北九州ブランド」のお土産を製作するために九州女子大学、九州国際大学、西日本工業大学、黒崎商店組合連合会とともに企画を練っているところです。

これから、星琳高校は「地域に愛され、地域に必要とされ、地域と共に発展する学校」として「挑戦」を続け、アクティブに「変身」して参ります。どうぞ今後とも地域の方々のご支援ご指導をお願いしたいと思います。

てきています。吹奏楽部は2021年第27回日本管楽合奏コンクール大会で全国大会出場という快挙を成し遂げました。また、スキー競技でインターハイや国体に出場する生徒が出るなど多士済々です。

また、第一薬科大学、九州女子大学及び九州女子短期大学との高大連携協定を結び、大学教員や学生との交流により、生徒の学問に対する意識改革が進んでおります。インターンシップや社会人講話も頻繁に行うなど「キャリア教育」も充実させています。



星琳高校校長
久保 英二

校長より

生徒の学校生活に関する「満足度」は86.9% (国立青少年教育振興機構調査2015全国平均80.1%) 「友人関係」は93.0% (同88.5%) となっております。また「星琳高校に誇りや愛着を持っている」は前年の68.9%から74.9%へと向上しています。それにともない、進学や就職などの進路実績も向上しております。さらなる進化を遂げてまいりますので、これからも変わらぬご支援をお願いいたします。



八幡西区長からの表彰

週末俳人の週末



福本 弘明
公益社団法人
八幡法人会専務理事
俳誌『天籟通信』代表

昭和61年6月の日曜日、取引先の夫婦に誘われて、初めて句会というものに参加した。二人で雑貨の卸売業を営む、団塊の世代の社長と社長よりも6歳年上の奥様は、バツイチ同士であった。私は30歳。信金の支店の渉外を担当していた。

事務所に伺うと、社長のデスクに手書きの小さな文字が並んだB4ほどのペーパーが置いてあった。明らかに仕事とは関係がなさそうである。詩でも書いてあるのかと思いい、「これは何ですか」と尋ねると、社長はニヤリとして「読んでみる？」と、手渡してくれた。読んでみたら、まったく理解できない。何だこれかと思っただが、575になっっているようなので、自信はなかったけれど、「俳句ですか」と答えると、そうだという。すぐに俳句だとわからなかったのは、私の頭にあった俳句の概念とは程遠いものが並んでいたからである。上品な奥様の「今日の日曜、句会があるわよ。出てこない？」という誘いを断わることができず、これも仕事のひとつだと思

なおして、初めての句会参加となった次第である。以後、毎月一回、八幡西区のはずれから小倉南区曾根の公民館に通うことになった。二人の子は4歳と2歳だった。

そもそも俳句には興味がなかった。第一、面白さがわからない。俳句といえば、芭蕉の「古池や蛙飛び込む水の音」は海外でもよく知られているが、何が面白いのだろうと思っていた。自分なりに納得のいく解釈ができたのは、ずいぶん経ってからである。一般的には、古池の静寂を蛙が一瞬破ることによって、侘び寂びに通じる禅的な佇まいが一層際立つのだと、解説される。

仏教学者の鈴木大拙の解釈は、東洋思想家の境野勝悟氏によると、「大拙先生は古池を永遠なる自然の生命の象徴と捉えられました。そして蛙が飛び込むポチャンという音は、永遠の生命から比べれば一瞬に過ぎない人間の一生。つまり、一瞬に過ぎない二度とない人生の時間を嘆き悲しみながら過ごすことの虚しさ……。逆に生を惜しみ感謝しながら生きることの大切さを説

いたのがこの句だということです。」(『致知』令和2年4月号)となる。

ちなみに、私はすこし違う読み方をする。「古池や」は、古色蒼然とした池である。樹々に囲まれ、昼間でも薄暗い池を想像する。そして、「古池や」に対応するものとして「蛙飛び込む水の音」がある。「古池に」ではないことに注目してほしい。「古池に」であれば、散文的になり、「水の音」の説明に終わってしまう。あくまでも、「古池や」で一旦区切れが生じるのである(俳句では句切れという)。極端にいえば、蛙が飛び込んだのは古池でなくても構わないということになるが、ここは古池が妥当と思われる。水の音は小さいながら、「古池や」という動きのない、重々しいものに波紋を広げる。しかも、蛙は春の季語であるから、その波紋は、希望や明るさをもって見えてくるような気がする。これを芭蕉自身に当てはめて深読みすれば、それまでにない高い文学性を持って俳諧の世界に一石を投げようとする、芭蕉の心意気ではないかとさえ思えるのである。

という具合に、俳句はいろいろな解釈を許すのが特徴だ。逆に言えば、結論を言ってしまうている、説明文のような俳句は、面白くない。それゆえ、俳句の基本は写生だと言われる。感想や感情を言葉にしない

のが鉄則である。そんなことは、俳句を続けていけば、追々わかってくることであるが、俳句の面白さは、詠むだけではなく、読むことも大きな要素になっている点だ。人にはそれぞれの人生があり、考え方が異なる。句会はいわば合評会であるので、作品の解釈を巡って様々な意見や感想を聞くことができる。それが、楽しいと思えるようになったのは、俳句を始めて2、3年が過ぎた頃である。

面白くなってくると、別の句会にも顔を出すようになり、月に八つの句会に出ている時期もあった。休日のほとんどを句会に充てたわけである。今となっては、家族を顧みなかった後悔の方が大きい。そのせいか、世帯を持った二人の息子は、どちらも家族第一主義に徹しているように見える。それが当たり前の時代だとも言えるが、反面教師になったのも確かだと思える。

さて、句会に参加するには俳句を作らなければいけない。大抵は、句会の前夜に机の上でひねり出しているのが実情だ。平日は仕事のことと精一杯。作り溜めておくという余裕はない。俳句に関わるのは、どうしても週末になる。

今は、月に三つの句会に参加しているのだが、それ以外の休日は確かに自由ではあるのだが、いろいろと俳句に関わる仕事があ

る。例えば、俳句大会の運営や選考。年間に実行委員や選考として関わる俳句大会の数は、両手では足りない。昨年、実行委員長を務めた全国規模の大会は9千句以上の応募があった。地元の「樽山荘子ども俳句大会」や「ひびしん俳句大賞」は、ともに5、6千句の応募がある。これらの作品に目を通し、選をし、評を書く。コロナ以後は、Zoomでの合評会も開かれる。たまに、商業誌から作品や原稿の依頼もある。断るのは簡単であるが、それも癪なので、なるべく受ける。そして何よりも、私が代表を務める「天籟通信」の発行がある。

「天籟通信」は、私が師と仰ぐ穴井太を中心に、昭和40年に戸畑区天籟寺で創刊された俳句の月刊同人誌である。現在の会員は約100名。2年後に創刊60周年を迎える。創刊当初の作風は前衛であり、社会性の強い作品が多いのが特徴であった。例えば穴井太の次のような作品。

夕焼雀砂あび砂に死に記憶

夕空の雲のお化けへはないちもんめ

「夕焼雀」の句は、長崎原爆忌を詠んだもの。長崎原爆資料館前の原爆句碑に、金子兜太の「彎曲し火傷し爆心地のマラソン」、松尾あつゆきの「なにもかもなくし

た手に四枚の爆死証明」などの句とともに刻まれている。

「夕空の」の句は、記録文学作家の上野英信が拠点とした「筑豊文庫」を訪れた時の作品。坑夫への鎮魂の句であろう。季語は無い。穴井太の三回忌（平成11年）に、天籟寺のなんじゃもんじゃ通りにこの句を刻んだ句碑を建立した。

およそ俳句会は、先生と呼ばれる主宰者をトップに、ピラミッド型の組織を形成している場合が多い。俳句は自然を詠み、有季定型（季語を必ず使い、575の型にぴつたりと当てはめる）とするのが一般的（伝統的とも）である。「天籟通信」はピラミッドの組織を嫌い、同人は皆平等の立場とした。作品は伝統に抗い、新しい可能性に挑戦することを旨とした。今も、その方針に変わりはない。

穴井太没後、「天籟通信」の存続が決まり、私が代表を引き継ぐことになったのだが、まさに青天の霹靂。いよいよ週末俳人を決定づけることになった。この時まで、こんな週末を送る人生になるとは思ってこなかった。ただ近年は、なるべく休日はつれあいと過ごす時間を増やそうと努力はしている。濡れ落葉と言われない程度に。

頂たかねに妻を飾って春の山

弘明

会長挨拶



公益社団法人八幡法人会
会長 野村 廣美

平素は、ご多用の中、法人会の活動に対し、ひとかたならぬご支援とご協力をいただき心より御礼を申し上げます。

さて、5月に新型コロナウイルスが2類から5類に引き下げられたことよって、マスクの着用をはじめ、社会生活は一気に正常化に向けて動き始めたような気がいたします。

ただ、何もかもがコロナ前と同じ状態に戻るといってわけではなく、コロナ禍を機に身近

なところでは、デジタル機器に触れる機会が増えて参りました。年配者にとっては、AIの飛躍的な進化についてゆくのが大変な時代になってきていると感じます。

また、国内では、少子化対策やLGBT問題、生産性の向上など、課題が山積している中で、ロシアのウクライナ侵攻は、物価の大幅な上昇をもたらしただけでなく、国の安全保障に対する不安を増幅させることになりました。縁がないと考えていた「侵略」や「戦争」という言葉を意識せざるをえない状況が生まれています。

世の中は、いつも混沌としたものかもしれませんが、このような中で、税に関わる団体といたしましては、日本が平和で、安心して暮らせる国であるために、税金を使ってほしいと願わずにはおれません。

昨年度の法人会を振り返りますと、3年ぶりに、ほぼ計画通りの活動を実施することができました。加えて青年部会が「全国青年の集い」沖縄大会で租税教育活動のプレゼンを行い、優秀賞を獲得するという大きなニュースがありました。

今年度につきましては、今後の社会経済の急速な回復が期待される中で、コロナ以前と同様の活動をより多くの参加者とともに実施することを目標にして、事業計画を立てております。

10月からインボイス制度がスタートしますが、税務に関する研修や相談会、講演会をはじめ、会員相互の交流を図る「地域と会員の集い」や「支部研修会」などを実施する予定です。また、青年部会による小学生向けの租税教室は希望校が倍増していると聞いておりますし、女性部会によるチャリティーバザーや絵がきコンクールなども計画されております。

これらの活動について、皆様のご理解をいただき、また参加していただくことよって、税への関心を深め、親睦を通して、人と人とのつながりを作っていたいただきたい願っております。

最後になりましたが、今後とも、八幡税務署様を始め関係団体様、そして、会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。挨拶といたします。

署長挨拶



八幡税務署
署長 久松 泰雄

本年7月の定期人事異動で、八幡税務署長を拝命いたしました久松でございます。

公益社団法人八幡法人会の皆様方には、日頃から税務行政の円滑な運営につきまして、深いご理解と格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

八幡税務署の勤務は初めてとなりませんが、この伝統ある鐵の都から、環境に配慮し、自然と共生する緑豊かな都市づくりを実践されるこの地で勤務できますことを大変光栄に思っております。

貴会におかれましては、税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援地域の振興に寄与、国と社会の繁栄に貢献するとの理念の下、正しい税知識の普及や納税道義の高揚のために、各種研修会や講演会の開催をはじめ、「租税教室」、「税に関する絵がきコンクール」や「黒崎こども商店街税務署ブース」等を通じて税の啓蒙活動に取り組みされているほか、これまで新型コロナウイルス感染症の影響から制約されていた公園の清掃活動や献血等の多くの社会貢献活動が再開されていると伺っております。

これもひとえに、野村会長をはじめ、役員及び会員の皆様方の熱意とご尽力によるものと深く敬意を表する次第でございます。今後も、貴会の活動がさらに活性化されますことをご期待申し上げますとともに、私どももいたしまして、皆様と一層の連携協調を図り、できる限りのご協力をしてまいりたいと考えております。

さて、ご存知のとおり、いよいよ10月から消費税の仕入税額控除の方式として適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されることとなります。私どももいたしましたし、同制度の円滑な実施に向けて、説明会の実施など周知・広報活動に取り組んでいるところでございますが、八幡法人会の皆様におかれましては同制度が円滑に実施されるよう、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人八幡法人会のみならずのご発展と会員の皆様のご健勝並びに事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、私の着任のあいさつとさせていただきます。



アメリカ、中国、韓国、インド、ベトナム、ネパールからの留学生12名による日本語弁論大会が開催されました。留学生の皆さんは、日本語の難しさや日本での就活などを話題にして、大いに会場を沸かせましたが、日本での戸惑いや苦労も多いことを察することができました。八幡法人会から社会貢献委員会の安永委員長が審査員として参加しました。

令和5年
1月9日
(月)

留学生弁論大会
会場：北九州芸術劇場 中劇場

Corporation
Association

法人会 活動報告

ACTIVITY REPORT

八幡法人会は、八幡東区・八幡西区・戸畑区の法人会員を対象として、税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与するとともに、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的としています。その目的達成のため、会員の交流事業や福利厚生のための事業を行っています。

会員数は2,198社、(令和5年3月31日現在)です。



令和5年
3月29日(水)
4月5日(水)
6月7日(水)
7月5日(水)

インボイス説明会
会場：千草ホテル
八幡税理士会館3階会議室(7月5日)

講師に八幡税務署担当官をお招きし、インボイス説明会を開催しました。

●3月29日参加者43名 ●4月5日参加者12名
●6月7日参加者28名 ●7月5日参加者22名



説明会終了後は個別相談会を行いました



令和5年
1月20日
(金)

女性部会
チャリティバザー
寄付贈呈
会場：千草ホテル

令和5年1月20日(金) 理事会にて女性部会チャリティバザー収益金寄付贈呈式を執り行いました。岩本女性部会長より、到津の森公園 梅崎園長、一般財団法人北九州市母子宴婦福祉会 敷田理事長へ贈呈されました。

1月30日(月) 岩本女性部会長より、株式会社PLS 落水代表取締役へ贈呈されました。

応募作品賞の選定は、アドバイザーに星野木綿先生を迎え、八幡税務署・八幡法人会会長・女性部会理事で行いました。



令和4年度
絵はがき
コンクール
応募作品選定
会場：千草ホテル

令和5年
2月2日
(木)



令和5年
6月7日
(水)

決算法人説明会
(6月・7月決算)

会場：千草ホテル

●参加者
15社19名(内2社3名非会員)
講師：
九州北部税理士会
八幡支部 税理士
戸田 勇樹 氏

講師：
八幡税務署
法人課税第一部門調査官
田中 善昭 氏

●参加者
13社14名(内非会員1社1名)

講師：
九州北部税理士会
八幡支部 税理士
相賀 崇 氏

講師：
八幡税務署
法人課税第一部門調査官
田中 善昭 氏

令和5年
4月5日
(水)

決算法人説明会
(4月・5月決算)

会場：千草ホテル

講師に、八幡税務署 法人課税第一部門調査官 田中善昭氏、九州北部税理士会八幡支部 税理士 中村有輔氏をお招きし開催しました。

54社61名(会員52社59名・非会員1社1名)の参加がありました。
同日決算法人説明会終了後、16時から講師に八幡税務署をお招きし、インボイス説明会を開催しました。
参加者は49名でした。

令和5年
2月8日
(水)

決算法人説明会
(2月・3月決算)

会場：千草ホテル



令和5年
2月10日
(金)

新春講演会と
落語会

会場：ホテルクラウンパレス北九州

講師に、北九州市出身の落語家 橘家文太 氏をお迎えし、「落語で笑顔！～北九州住みます芸人奮闘記～」というテーマで講演をいただいた後、落語会を開催しました。

●参加者123名(会員55名、一般68名)



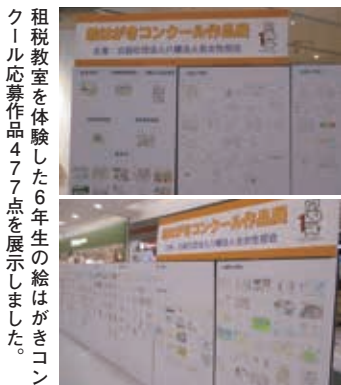
令和5年
2月9日(木)
6月14日(水)

相続・贈与
無料相談会

会場：福岡ひびき信用金庫
本店営業部

相談員に九州北部税理士会 八幡支部の権藤 權治 税理士をお招きし、相続・贈与無料相談会を開催致しました。

●2月9日参加者 4名(会員1名、非会員3名)
●6月14日参加者 4名(会員2名、非会員2名)



令和5年
3月14日(火)～
3月26日(日)

絵はがき
コンクール
作品展示

会場：イオンモール八幡東
1階フードガーデン前

租税教室を体験した6年生の絵はがきコンクール応募作品477点を展示しました。



令和5年
2月20日
(月)

北九州地区
5法人会
合同講演会

会場：JR九州ステーション
ホテル小倉

講師：渋谷 健 氏
テーマ 渋谷栄一の「論語と算盤」で未来を拓く
～ポスト・コロナの持続可能な社会と企業経営～

●参加者 5法人会合計128名
八幡法人会参加者19名(会員13名、一般参加者2名、その他4名)



3月6日(月)
鞘ヶ谷小学校
●八幡税務署長賞 1名



2月28日(火)
上津役小学校
●最優秀賞 1名
●八幡法人会会長賞 1名
●優秀賞 1名



2月27日(月)
折尾東小学校
●優秀賞 1名



3月8日(水)
高見小学校
●優秀賞 1名

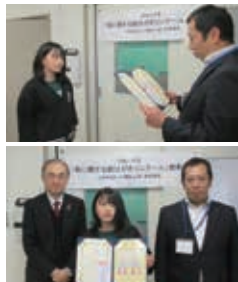


3月8日(水)
光貞小学校
●女性部会長賞 1名
●優秀賞 1名



3月6日(月)
黒崎中央小学校
●優秀賞 1名

絵はがきコンクール表彰式



3月13日(月)
高槻小学校
◎優秀賞 1名



3月10日(金)
楠橋小学校
◎優秀賞 1名



3月9日(木)
熊西小学校
◎青年部会長賞 1名
◎優秀賞 3名



令和5年
3月30日
(木)

北九州地区法人会青年部会
「合同研修会」
会場：千草ホテル



溝上酒造酒蔵見学後、千草ホテルにて研修会を行いました。(出席者32名)



令和5年
4月12日
(水)

第36回「全国青年の集い」
沖縄大会
租税教育プレゼン
報告会
会場：千草ホテル



●参加者85名

令和5年
5月9日
(火)

租税教室合同
勉強会
会場：八幡税理士会館



青年部会による出張子ども租税教室開催

令和5年
4月29日
(土)

PTA子ども
フェスタ
会場：八幡中央区商店街

第17回法人会
全国女性フォーラム
(愛媛大会)

会場：アイテムえひめ(愛媛国際貿易センター)

令和5年
4月13日
(木)



女性部会より3名参加しました。



令和5年
6月15日
(木)
**福岡県法人連合会
第11回定時総会**
会場：西鉄グランドホテル



●参加者 136名
(委任状1,256名 合計1,391名)



令和5年
6月6日
(火)
第11回定時総会
会場：ホテルクラウンパレス
北九州

●**税務研修会**
講師：八幡税務署法人課
税部門連絡調整官
山口信一郎 様
内容：消費税の仕入れ税額控
除制度における適格請求書等
保存方式に関するQ&A
●**報告会**
小松青年部会長、岩本女性
部会長より報告
●**歴代部会長との交流会**
初代青年部会長
高宮俊諦様よりお言葉をい
ただきました。
●**参加者**
研修会49名
報告会50名
交流会50名



令和5年
6月30日
(金)
**税務研修会並びに
青年・女性部会合同
報告会及び
歴代部会長との交流会**
会場：千草ホテル



参加者：14名
講師：副部会長
日向 祥隆



令和5年
7月12日
(水)
**青年部会
租税教室講師
養成勉強会**
会場：黒崎コムシティ

今後の予定

11月8日(水)

決算法人説明会

会場：千草ホテル
時間：13：30～15：30
対象：11・12・1月決算月
の事業所様



11月7日(火)

文化講演会

会場：ウェルとばた



10月1日(日)

ボランティア清掃

会場：瀬板の森公園
時間：10：00～11：30



9月27日(水)

献血

会場：八幡税務署駐車場



新会員紹介

令和4年12月1日から令和5年6月30日までに入会し令和5年6月30日現在で会員登録になっている会社 31社

第1支部	
会社名	代表者
夢工房トマト	井手下恵理
飯田総建(株)	飯田 篤史
(株)Hshimoto.	橋本 諭
J Sコーポレーション(株)	上野 誠矢
(株)誠工	内田 卓也
第2支部	
会社名	代表者
(株)ライフリッチ	山本 尚弘
(株)マリンテック	大森 康生
IIID	川口 淳史
ペイントハウス	内野 修
(有)福産建設	内田 正勝
(株)玄昌	綾 祐太郎

第3支部	
会社名	代表者
九州特殊鋼具(株)	仮屋 敏子
(株)テクノ・エム	吉野 智晴
ミューズ美容室	蒔田 加代
カワカミ電設	川上 甚
(同)Can Entertainment	三好 圭子
第4支部	
会社名	代表者
WhiteLapin(株)	稲葉 金
(株)マツモト建設	松本 繁樹
(株)ジョリオ	星野 貴郎
ゆかり接骨院	東 惇浩
第5支部	
会社名	代表者
(株)K3	佐藤 幸司
(有)ホクユー	川合 賢治
(株)川本総建	川本 博樹

第6支部	
会社名	代表者
YES(株)	檜崎 靖将
第7支部	
会社名	代表者
シンコー薬品(株)	古川 伸司
河原産業(株)	河原 昌和
そうかつ(株)	長岡 弘幸
(有)正込電設	正込 一樹
輝(株)	加来 優輝
ワシダホールディングス(株)	岡橋 正之
第8支部	
会社名	代表者
(株)大石建設工業	大石 裕之

税務署の人事異動

令和5年7月10日付(法人課税関係)

官 職	転入の部		転出の部	
	氏 名	旧 官 職	氏 名	発 令
署長	ヒサマツ ケイオ 久松 泰雄	福岡国税局 課税第一部 資料調査課 課長	イノウエ カズヨシ 井上 和義	国税庁 福岡派遣監察官 監察官補
副署長	コガ ツトム 古賀 務	国税庁 福岡派遣監察官 監察官	カワバタ カツノブ 川畑 勝信	福岡国税局 課税第二部 酒税課 酒類業調整官
総務課長	ハクラク カズヒロ 白樂 和彦	(留任)		
特別国税調査官 (法人税担当)	クスコバ ケイオ 楠達 泰浩	香椎税務署 署長	オオバヤシ カズヨシ 大林 和喜	久留米税務署 特別国税調査官 (法人税担当)
特別国税調査官 (法人税担当)			オガタ ユキヒロ 緒方 幸博	福岡税務署 審理専門官 (法人課税担当)
法人課税第一部門 統括国税調査官	ヒグチ ユウコ 樋口 祐子	武雄税務署 法人課税部門 統括国税調査官	リキヒサ ヨウヘイ 力久 講平	福岡国税局 調査査察部 調査管理課 総括主査
法人課税第二部門 統括国税調査官	イシハシ ケニヒコ 石橋 邦彦	(留任)		
法人課税第三部門 統括国税調査官	エジマ ケニヒコ 江島 国彦	久留米税務署 法人課税第二部門 上席調査官	タニヤマ ケイコ 谷山 桂子	福岡税務署 法人課税第九部門 統括国税調査官
法人課税第四部門 統括国税調査官	ヒラタ ケイオ 平田 恭大	(留任)		
法人課税部門 連絡調整官	ヤマグチ シンイチロウ 山口 信一郎	(留任)		
法人課税第一部門 調査官	タナカ ヨシアキ 田中 善昭	(留任)		

事前予約制

消費税インボイス制度説明会の開催のお知らせ

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式として適格請求書等保存方式いわゆる「インボイス制度」が始まります。

インボイスを発行できる「適格請求書発行事業者」となるための登録申請受付は、令和3年10月1日から始まっています。

「インボイス制度について知りたい」という方は、**説明会（無料）**を以下のとおり開催いたしますので是非ご参加ください。

開催日	開催時間	定員	開催場所
令和5年 8月 2日(水)	16:00~17:00(60分)	50名程度	千草ホテル 光琳の間 (八幡東区西本町1-1-1) 【講師：八幡税務署担当官】
令和5年 9月13日(水)	14:00~15:00(60分)	50名程度	八幡税理士会館 3階会議室 (八幡東区平野2-13-5) 【講師：八幡税務署担当官】 ※ 説明会場には駐車場はございません。ご来場の際には、公共交通機関等をご利用ください。
令和5年10月11日(水)	14:00~15:00(60分)	50名程度	八幡税理士会館 3階会議室 (八幡東区平野2-13-5) 【講師：八幡税務署担当官】 ※ 説明会場には駐車場はございません。ご来場の際には、公共交通機関等をご利用ください。
令和5年11月 8日(水)	16:00~17:00(60分)	50名程度	千草ホテル 光琳の間 (八幡東区西本町1-1-1) 【講師：八幡税務署担当官】
令和5年12月13日(水)	14:00~15:00(60分)	50名程度	八幡税理士会館 3階会議室 (八幡東区平野2-13-5) 【講師：八幡税務署担当官】 ※ 説明会場には駐車場はございません。ご来場の際には、公共交通機関等をご利用ください。

【事前予約先】

八幡税務署 TEL:093-671-6531
担当 ○個人課税第一部門
○法人課税第一部門

自動音声案内により案内していますので、「2」を選択（プッシュ又はダイヤル）してください。

- ※1 電話による事前予約制となっております。
 - ※2 定員に達した場合は、ご参加いただけません。
 - ※3 新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況又はその他の事情により、中止となる場合があります。
- なお、中止となる場合は事前予約時に登録された連絡先へ電話により連絡させていただきます。

説明会日程に関する最新情報は、福岡国税局ホームページ「消費税インボイス制度説明会」をご覧ください。



説明会に関する情報

【主催】公益社団法人八幡法人会 【共催】八幡間税会

税務署からのお知らせ

令和5年8月から
税務署窓口での納税は

9時～16時

までに
お願いします



国税の納付は、**キャッシュレス納付**も
是非ご利用ください。お出かけ不要！

振替納税

スマホアプリ納付

ダイレクト納付

クレジットカード納付

インターネットバンキング



詳しくは国税庁HPへ！

🔍 国税 納付

福岡国税局・税務署





色々あるから総合保障。

経営者を取り囲むリスクは1つではありません。

まさに色々です。

だからこそ安心も色々必要です。

重責を担う経営者を守る、

※
幅広い保障を

ぜひお役立てください。



※保障内容の詳細については「設計書[契約概要]」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。なお、左記の保障の組み合わせには、所定の制限があります。

法人会会員のみなさまに

経営者大型総合保障制度

企業保障プラン + 一時金型
総合型V Mタイプ

Premium

大同生命の
無配当入院一時金保険

大同生命の定期保険+
AIG損保のベーシック傷害保険

◎大同生命の商品の正式名称は次のとおりです。

総合型V :

大同生命の無配当満期定期保険(無解約払戻金型) または
大同生命の無配当歳満期定期保険(解約払戻金抑制割合指定型)

Mタイプ :

大同生命の無配当入院一時金保険(無解約払戻金型)

DJIDO 大同生命保険株式会社

北九州支社/八幡営業所
福岡県北九州市八幡東区平野2-13-5 八幡税理士会館2F
TEL 093-662-6221

AIG AIG損害保険株式会社

北九州支店
福岡県北九州市小倉北区堺町2-3-31 富士火災小倉ビル6階
TEL 093-511-3821

- ◎この資料は2023年6月現在の商品内容に基づいて記載しており、将来変更となることがあります。
- ◎この制度は、法人会の会員のみご加入いただける制度です。ご加入後に法人会を退会された場合は、保険料の引き上げや損害保険部分の解約等のお取扱いとなることがあります。
- ◎この広告は、保険商品の内容のすべてが記載されているものではありません。ご検討・ご契約にあたっては、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」「設計書[契約概要]」「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。また、ご不明の点などございましたら、引受保険会社または取扱者にお問い合わせください。

F-2023-0011(2023年5月19日) 23-073014 2023-05

八幡法人会だより
sarakura

●発行日/2023年9月1日 通巻77号

●発行者/公益社団法人 八幡法人会 北九州市八幡東区平野2丁目13-5 八幡税理士会館2階 TEL.093-661-5793